

留 学 報 告 書

記入日:2020年8月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部
留学先国	イタリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヴェネツィア大学 現地言語: Università Ca' Foscari Venezia
留学期間	2019年9月～2020年2月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	年 月 日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9.16-11.2 2学期:11.4-2.1 3学期:2.3-3.21 4学期:3.23-5.16 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	20000
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	4300	550000円	家賃は毎月370ユーロで、入寮費、光熱費は別です
食費	5000	63000円	週に500ユーロ程度
図書費	65	8000円	教科書2冊
学用品費		円	
携帯・インターネット費	200	25000円	hoという会社は初回50ユーロ、その後10ユーロで50gbです。寮のインターネット費は60ユーロ。
現地交通費	250	32000円	学生に対して現地の水上バスも含めて乗り放題定期券は毎月25ユーロ (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	400	50000円	
医療費		円	
保険費		97610円	形態:全額
渡航旅費	630	80000円	往路
ビザ申請費		6200円	
雑費		円	
その他	4000	500000円	旅費、娯楽、日常用品、ギフト、スマホ修理代など
その他		円	
合計	15000	1900000円	毎月1500ユーロ程度

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 中国 目的地: ヴェネツィア 経由地: プラハ	
復路 出発地: 目的地: 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: チェク航空 料金: 80000 円 復路 航空会社: _____ 料金: _____ ∴合計: _____	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: skyscanner) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Collegio Gesuiti) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
4 月ごろ留学先大学から学生寮募集のメールが来て、それに従って申請しました。先着採用と言われたが、実際に現地の学生と交流したら、当選かどうかは運よりかもしれないと思います。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
出発前に簡単に滞在先を確保したため、各種の手続き上にとでも便利になります。どちらの寮に滞在するのは大学側が決められたが、ほとんどは良くない悪くない条件です。ただし実際衝突があった時も管理人も大学の housing office も責任を負いたくないようでした。従って、まず学校の寮を申請しておいて、現地に着いたら寮に不満であれば、また現地で住居を探す方が便利かもしれないと思います。とにかく治安面も留学体験の面も、経済的に余裕があればヴェネツィア本島に住むことをお勧めです。	



現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院,学内の診療所)

- なし
あり(治療を受けた場所:)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例:留学先大学の相談窓口,現地の友人等)

- なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

自分は元々よく旅行をして、ずっと警備しているから盗まれたことがなかったが、盗まれた友達はたくさんいます。ただし、リニアに旅行した時、夜歩いた際にいきなり後ろからスマホを奪おう人がいました。ずっと注意していたから必死でスマホ握って、相手は失敗してそのまま逃げました。これ以外に、ヨーロッパはネット上に描いたように危険でもないと感じました。旅行する時事前に治安がよい地域に泊まって、時間帯を注意したらほとんど大丈夫だと思います。パリに旅行した時にわざわざ南京錠を準備してカバンをいつもロックしたが、そこに会ったパリに5年間在住したアジアの友達に、一回も盗まれたことも無かったよと笑われました。もちろん日本のように安全ではないが、一般常識の程度で注意したら十分だと思います。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

着いたらすぐにvodafoneの店でsimカードを購入したが、なんとなくhoという小さい会社のカードをもらって、一ヶ月後に気づいて、使用上に支障がなくて、料金も少し安かったです。また、大きな会社なのに客によってポツタクリがあって、何人の友達は同じ会社のsimカードを使っているのに、みんな開設した時の料金は違いました。事前に値段を調べておいて方がいいと思います。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

出発前にクレジットカードを作りました。ほとんどの場合には直接クレジットカードを使いましたが、現金が必要な場合に両親から口座に送金してもらい、現地のATMから引き出せば良いです。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

アジア商店はいっぱいありますのでほとんど必要がないと思います。AUMAIやAMO CASAでも炊飯器などアジア人がよく使う用品を安い値段で入手できます。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



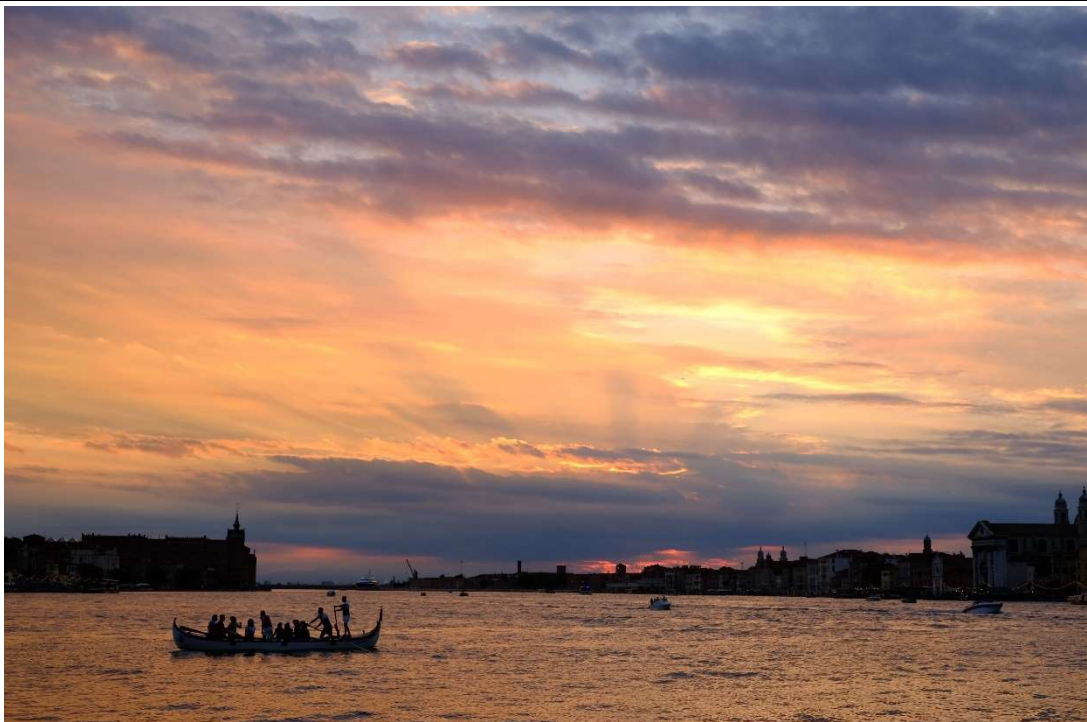
学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
<div style="text-align: center;">単位</div>	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? なかったです	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
COMPARING EAST AND WEST GOVERNING CONSUMER BEHAVIOR IN CHINA, US AND EUROPE	比較文化
科目設置学部・研究科	Venice International University
履修期間	1st Semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミナール (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が2回
担当教授	Harro Maas
授業内容	中国の社会信用制度をめぐって、中国、ヨーロッパとアメリカの消費習慣およびその原因を研究する授業です。
試験・課題など	グループプレゼンテーションと期末レポートによって評価される
感想を自由記入	最初は中国古代の神話、神観から学んで、その後も最新の話題として中国の社会信用制度をめぐって研究しました。ヨーロッパ古代とアメリカ近代の信仰、政策、習慣なども比較して、単に批判ではなくて、全般的に社会信用制度というものの経緯を分析しました。読む資料と授業中に扱内容は非常に難しく、あまり知られていない知識をどうして勉強するのもわからなかったが、最後にすべての伏線を回収し、はっと悟りました。先生は広い知識を持つおもしろい人です。一番印象が深かった授業でしたが、ゲストレクチャーから今後は授業内容が変わると思うます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
HISTORY OF VENICE	ヴェネツィア歴史
科目設置学部・研究科	Venice International University
履修期間	1st Semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミナール(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	Luca Pes
授業内容	The aim is to provide students with an introduction to ways of looking at the history Venice, making them aware that the same methods can be applied to the history of other places; assisting them to develop themes of personal interest; encouraging them to build historical discourses and share individual perspectives with their peers; training them to see the signs of history in the Venetian landscape and to perceive the city as a "machine for living".
試験・課題など	個別相談、プレゼンテーションと期末レポートを合わせて評価される
感想を自由記入	留学した前にせっかくヴェネツィアに生活して、ヴェネツィア歴史を勉強しなければもったいないと思ったが、実際にそうでもないです。歴史に興味がない私にとってそんなに面白い授業でもないし、週に2回でたくさん時間をかかったから、VIUに他のもっと価値がある授業を参加したらよかったと思います。ただし本当にヴェネツィアを深く研究したい方にとって、これも他のところで習得できない授業であると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
HISTORY OF SOUTHEAST ASIA	東南アジア歴史
科目設置学部・研究科	LANGUAGES, CULTURES AND SOCIETY OF ASIA AND MEDITERRANEAN AFRICA
履修期間	1st Semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義と授業内討論(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	Tran Richard Quang-Anh
授業内容	Its educational objectives fall within the area of learning historical, cultural and humanistic skills.
試験・課題など	毎週事前に教科書の東南アジア東南アジアにおける伝説を読んで、授業内ディスカッションする。試験を記述式問題。
感想を自由記入	東南アジア歴史を学ぶ授業だから、学生はすべてアジアに興味を持つ、友達を作りやすい授業でした。唯一のアジア人としても発言する機会が多かったです。先生は英語だけ堪能ではなく、それ以外には六カ国語ができて、期末レポートは好きな言語を選んで書きます。一番面白かった授業です。春学期の方が先生を変えます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
EUROPEAN PUBLIC LAW	ヨーロッパ公法
科目設置学部・研究科	Venice International University
履修期間	3rd Term
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	Perini Mario
授業内容	The course aims to provide the basic knowledge of European public Law. The course focuses on the main european institutions, their jurisdictions and their relationships. At the end of the course, the student will be able to use in practice the knowledge acquired.
試験・課題など	グループディスカッションと選択式問題の試験
感想を自由記入	形式も内容も明治大学の法律科目とは似ています。300 以上の人に参加した当学部の必修科目であつたらしいです。基本的に先生が一方向的に説明をした授業なので、特別の印象がなかったです。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3) 就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

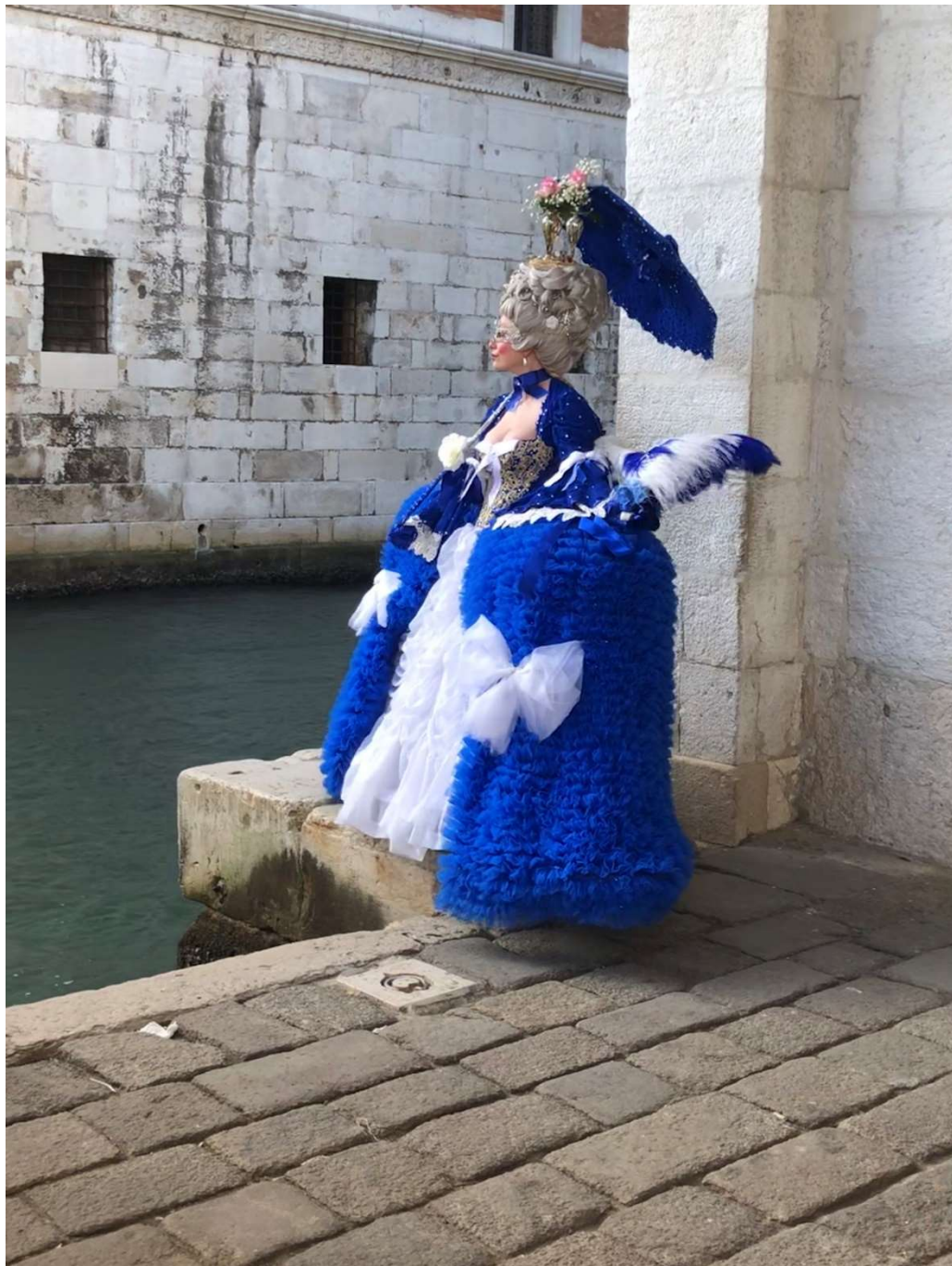
※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

5) 進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	学内選考
2019年 1月～3月	
4月～7月	協定校への出願手続、語学の準備、滞在先の確保
8月～9月	ビザ申請・取得、航空券購入
10月～12月	中間試験
2020年 1月～3月	期末試験
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

イタリアでの生活は、私にとってかけがえのない経験となりました。ヴェネツィアは有名な観光都市として、本島にいる人は半分以上英語が喋れるから、イタリア語を全然喋らなくても生活に支障がないと思います。そうとは言っても、少しイタリア語で挨拶や数字、買い物の簡単用語ができれば、相手は非常に嬉しくなると感じるので、余裕があれば少しでもイタリア語を勉強した方がいいと思います。

交換留学先のカ・フォスカリ大学と Venice International University の二校に通いました。カ・フォスカリ大学はいわゆるヴェネツィア大学という総合大学であり、学部によってキャンパスはバラバラです。授業の内容は先生それぞれ、聴講してみたら面白い授業もありますが、非常につまらないものもあります。交換留学は一学期または二学期の時間しかないの、事前にシラバスをちゃんと確認しておいて、参加する価値がある授業を選び出した方がいいと思います。

後者の Venice International University はヴェネツィア大学を含めて 16 の会員大学で連合して成立した特別な研究機関であり、学生はすべて会員大学からの交換留学生です。ヴェネツィア大学の交換留学生としての私もなんとなく参加できますのは本当に運がいいと思います。他の連合大学はほとんど世界名門大学で、毎学期に各大学からゲスト講師を招いて講義をするので、授業内容は半年ごとに変わります。こちらの授業はすべてゼミの形式から、本当に大変ですが、周りの優秀な学生が積極的に発言するので、たくさん人の意見が聞けて、良い環境にいるなど感じています。読まなくてはならない資料が多く、毎週宿題が終わらなくて困っていますが、寮の自習室に夜 2 時も他の学生と励ましあいながら毎週頑張っています。こちらの方は授業への参加度は絶対欠けないので、英語に自信がある学生に強くお勧めします。また、ほとんど毎週に field trip も組織され、普段にお金をかかっても参加できない、学者たちと一緒に無料でヴェネツィアの魅力を体験する機会も、Venice International University で勉強する利点があります。

ヴェネツィアはイタリアの中では比較的 안전한都市で、夜中でも出歩いても全く問題がなく、小さい街なので街の端から端まで歩いて行くことができました。最初の頃は何度も迷いましたが、毎日通学してだんだん道をよく覚え、最後に非常な達成感を得ました。毎日通学で素敵な風景が見えるのも、素晴らしい体験でした。ただし、ヴェネツィアと離れて Mestre という大陸の部分は、家賃や生活費も安く、通学の時間も長くないが、治安の面はより少し悪いので注意しなければなりません。また、上記の Venice International University の授業を取りたいと、大陸までは相当な時間がかかるので、本島に住む方がお勧めです。

留学を振り返ってみると、当初はやはり日本との文化の違いであったり、言葉の壁など大変なこともありましたが、留学という機会を生かして様々なことに挑戦出来たことが良かったと思います。留学中に現地で作った友達と一緒に 13 カ国へ旅行しました。コロナの影響で残念ながらそれ以上に行けなかったが、安価な旅費で多くの国に観光できるのもヨーロッパ留学の利点だと思います。日本にいとあまり意識をしません、行動を起こすというのは留学ではとても大事な事なので、ぜひ留学をする方は思い切って挑戦してみてください。